学校番号	409

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	最新社会と情報　（実教出版）						
副教材等	プリント教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報社会に生きている自覚をもち、積極的に授業に取り組みましょう。
　日常に起こりうる様々な問題について考え、予測・防止できる力を身につけてください。

情報社会で必要な技術を得るため、意欲的に実習に取り組みましょう。
　コンピュータやネットワークの仕組みを理解し、実習を繰り返し行います。
　基本的な技能を身につけてください。

2　学習の到達目標

(1) 情報の収集・処理・発信などの情報活用能力を身につける。
(2) 情報の収集・発信における問題点を理解し，それをふまえて適切な情報発信ができるようになる。
(3) 情報を主体的に活用し，情報社会に主体的に参加する態度を身につける。
(4) コンピュータの特性や情報通信ネットワークのしくみなどの基礎知識を習得する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身につけ、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身につけ、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している、
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 実習作品 自己評価・相互評価	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 自己評価・相互評価	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第3章 表現と伝達	2. 表計算ソフトの利用	○	○	○	○	A:表計算ソフトに関心をもち、意欲的に実習に取り組むことができる。 B:表計算ソフトの関数を、正しく判断し使用することができる。 C:表計算ソフトの基本的な操作ができ、効果的に活用できる。 D:よく利用する関数を、実習と通して理解し、活用できる。	授業プリント 小テスト 授業観察
	第5章 情報社会と問題解決	1. 情報システムと人間 2. 問題解決 3. 情報発信	○	○		○	a:身近な情報システムに興味を持ち、主体的に授業に取り組むことができる。 b:問題解決の過程をステップに分けて、考えることができる。 c:身近の問題を解決するために、効率的にインターネットサービスを利用することができる。	授業プリント 授業観察
2学期	第3章 表現と伝達	3. プレゼンテーション	○	○	○	○	a:スライドの製作、発表、評価まで自ら積極的に取り組み、他者への評価に関しても真摯に取り組もうとしている。 b:計画的に製作を行うことができ、受け手が理解しやすい工夫をし、自らの意見を表現できる。 c:画像やアニメーションなど多様なメディアを活用することができる。全ての生徒に同じ評価基準で評価をすることができる。 d:プレゼンテーション製作の流れを理解し、各段階のポイントを理解している。	自己評価 相互評価 授業観察
	第2章 情報機器とディジタル表現	1. 情報機器とディジタル 2. ディジタル表現	○	○		○	a:身の回りの情報機器の仕組みに興味を持ち、主体的に学ぼうとしている。 b:アナログとディジタルの意味についてし、正しく判断することができる。 d:ディジタル化のメリットについて理解する。	授業プリント 定期考査 授業観察

3学期	コミュニケーションとネットワーク	コミュニケーション ネットワーク	○	○	○	○	a:コミュニケーションツールに興味を持ち、ＳＮＳなどを利用する際のルールとマナーを守ろうとしている。ネットワークの特性や仕組みに興味を持ち、インターネットの仕組みやサービスに興味や関心がある。 b:目的に適したコミュニケーションの方法を選択でき、コミュニケーションツールを適切に活用できる。ネットワークの通信方式の相違を判断でき、目的に応じた適切なインターネットサービスを利用できる。 c:目的に応じたＳＮＳなどのコミュニケーションツールを適切に利用する技能を持っている。ＷｅｂサーバのＩＰアドレスを調べることができ、各種インターネットサービスを正しく利用することができる。 d:コミュニケーションの各種の分類や形態を理解し、多種多様なコミュニケーションツールの知識を持ち、それらを活用する際のルールとマナーの知識を持っている。プロトコルやＬＡＮの基本的な知識を持ち、インターネットの基本的なサービスの内容と正しい利用方法を理解している。	授業プリント 定期考査 授業観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。